

令和2年度使用中学校用教科書

# 選定資料

美術編

令和元年6月

愛知県教育委員会

## 美術

### 教科書選定の基本的な考え方

#### ○ 学習指導要領の教科の目標に一致していること

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

#### ○ 学習指導要領解説における改善のポイントを取り上げていること

ア 生活や環境の中の造形よさや美しさを感じとったり、伝えたい内容を形や色、材料等を生かして表現する学習活動の充実が図られている。  
イ 鑑賞については、鑑賞する喜びを味わうとともに、自分なりの意味や価値をつくりだしていくことができるよう、内容が工夫されている。

#### ○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現  
(「あいちの教育ビジョン2020」より)

## 選定資料（美術）作成の観点・着眼点

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとった学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容 等	(1) 内容の選択 ア 我が国の伝統や文化、現代の社会生活の変化や今日的課題等について教材の精選がされているか。 イ 身の回りの生活や行事、地域性等との関連を考慮して、適切に選ばれているか。 ウ 他教科との関連を考慮して、適切に選ばれているか。
	(2) 内容の程度 ア 各学年の発達段階や個人差への工夫がされているか。 イ 生徒の生活経験及び興味について工夫がされているか。 ウ 地域や学校の実情に合わせて使用しやすいような程度となっているか。 エ 生徒の発想に対応できる多様な表現や、材料や道具の扱いについて取り上げられているか。 オ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切に提示されているか。
	(3) 内容の構成 ア 各学年や2領域の内容は、関連・系統的に組織立てられているか。 イ 各内容の分量及び配列のバランスは適切であるか。 ウ 図版・図表・写真とその説明の内容・配列・分量が適切であるか。
4 表記・表現及び使 用上の便宜等	ア 安全面について適切な配慮がされているか。 イ 目次・注・資料等は、利用しやすいように工夫されているか。 ウ 生徒の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。 エ 本文記述と図版・挿絵・イラスト・写真・図表等に適切な関連付けがされているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとり学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9  開 隆 堂	<p>ア 身近な造形美術を多く取り上げ、色や形、材料等を生かして主体的に表現できるよう編集されている。</p> <p>ア 鑑賞活動のきっかけとなる問いかけ等を示し、表現の意図や価値を自分なりに見つけだすことができるよう工夫されている。</p>
38  光  村	<p>ア 体験や実生活に根ざした内容を取り上げ、自分の思いや願いを、色や形、材料等を生かして表現できるよう編集されている。</p> <p>ア 鑑賞活動で思いや考えを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりする活動が充実できるよう工夫されている。</p>
116  日  文	<p>ア 身近な生活の中から造形のよさや美しさを感じ取り、創意工夫しながら、色や形、材料等を生かして表現できるよう編集されている。</p> <p>ア 自然の造形や芸術作品への理解や見方を深め、よさや美しさ等を味わう鑑賞の能力を高めることができるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 命や世代の継承を考える題材を掲載することで、かけがえのない自他の命を大切に、個人の価値を尊重しつつ、自律の精神を育むことができるよう工夫されている。</p> <p>ア 社会で役立つ美術の知識や技能に着目することで、自らの力を生活の場で生かすことの重要性に気付き、共に生きようとする態度を養うことを目指している。</p>
38 光 村	<p>ア 伝統的な日本の美術や海外の作品を積極的に掲載することで、豊かな文化を継承したり、創造したりする姿勢を重視し、世界に視野を広げられるよう工夫されている。</p> <p>ア 社会で活躍するつくり手の活動や、生活や社会の中で存在する美術を取り上げることで、職業への意識や勤労を重んじ、社会に生かす態度を養うことを目指している。</p>
116 日 文	<p>ア 日本の伝統や文化を尊重できるような題材を設定したり、作品を掲載したりすることで、豊かな文化を継承し、創造できるよう工夫されている。</p> <p>ア さまざまな国々や民族の美術・工芸品を取り上げることで、異文化に対する認識や理解を深め、世界に視野を広げる活動ができることを目指している。</p>

<p>3 内容等</p> <p>(1) 内容の選択</p>	<p>ア 我が国の伝統や文化、現代の社会生活の変化や今日的課題等について教材の精選がされているか。</p> <p>イ 身の回りの生活や行事、地域性等との関連を考慮して、適切に選ばれているか。</p> <p>ウ 他教科との関連を考慮して、適切に選ばれているか。</p>
-------------------------------	---

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
<p>9</p> <p>開 隆 堂</p>	<p>ア 自然を扱った作品や環境問題を考える題材を掲載することにより、美術を通して環境への興味・関心が高められるよう教材の精選がされている。</p> <p>イ 地域の文化財や美術館等を活用した造形活動を取り上げ、学校や地域に応じた扱いができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 我が国の伝統的な文化や表現、国際理解の一端となる諸外国の美術作品が多く掲載されている。</p>
<p>38</p> <p>光 村</p>	<p>ア 地域の伝統工芸作品を掲載したり、郷土の美術文化を扱ったりして、美術を通して郷土愛を養えるよう教材の精選がされている。</p> <p>イ 地域の日常的な行事や活動に沿った造形活動を取り上げ、学校や地域に応じた扱いができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 歴史や社会との関連に考慮し、他教科と関わりをもちながら活用できるように、作品例や解説が掲載されている。</p>
<p>116</p> <p>日 文</p>	<p>ア 防災や復興に関わる題材や資料を掲載し、美術が社会に果たす役割を学習できるよう教材の精選がされている。</p> <p>イ 地域についての認識や理解を深める授業実践を多く取り上げ、学校や地域に応じた扱いができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 時代や地域、民族を超えた多様な価値観や生き方等を認め合うことの大切さを感じ取ることのできる題材が掲載されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (2) 内容の程度	<p>ア 各学年の発達段階や個人差への工夫がされているか。</p> <p>イ 生徒の生活経験及び興味について工夫がされているか。</p> <p>ウ 地域や学校の実情に合わせて使用しやすいような程度となっているか。</p> <p>エ 生徒の発想に対応できる多様な表現や、材料や道具の扱いについて取り上げられているか。</p> <p>オ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切に提示されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 学年の発達段階に対応した多様な参考作品を系統的にそろえることで、有効な積み重ねが図られ、個人差に対応できるよう工夫されている。</p> <p>イ 暮らしの中の美術を題材として取り上げることで、美術を学習する意味と必然性を示し、生徒の意欲が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 地域や学校の実情に合わせて指導計画を柔軟に立てられるよう題材が選択されている。</p> <p>エ 発想のヒントや発展的な情報を示すコラムがあり、題材に応じて発想を広げ、その能力が高められるよう配慮されている。</p> <p>オ 基本的な知識を巻末に示して学習を補充したり、相互に関連するページをマークで示したりして、自主的に発展的な学習が進められるよう提示されている。</p>
38 光 村	<p>ア 基礎となる資質や能力の定着から深長を図るよう発達段階を考慮し、学年の系統性に配慮した構成となっている。</p> <p>イ 作品を飾ったり、人に贈ったりする活動を取り上げたりすることで、実生活の中で美術が果たす役割を示し、関連が意識できるよう工夫されている。</p> <p>ウ 地域・学校の実情に合った指導を考え、題材数・領域のバランスや時間が配慮されている。</p> <p>エ 発想のヒントをマークで随所に示すなど、表現活動の参考が掲載してあり、安心して自分の表現を追求できるよう配慮されている。</p> <p>オ 各冊の巻末の「学習を支える資料」に、基礎的・発展的な内容に用いることができる資料を示すなど、補充的・発展的な学習を進められるよう提示されている。</p>
116 日 文	<p>ア 領域や分野ごとに体系的な学びができるよう配慮されており、3年間の成長過程と適合する題材構成となっている。</p> <p>イ 美術に関する職業への興味や日常生活や心を豊かにするための能力を、美術の学習を通して高めることができるよう題材が工夫されている。</p> <p>ウ 学校の実態や状況に合わせた学習を可能にし、表現と鑑賞、表現領域が適切に選択されている。</p> <p>エ 創意工夫を生かせる題材を設定したり、多様な表現技法や制作プロセスを示したりすることで、表現の工夫を引き出せるよう配慮されている。</p> <p>オ 各冊の巻末に制作プロセスを掲載することで、基礎的な技能を補充したり、表現方法を創意工夫して発展させたりすることができるよう提示されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (3) 内容の構成	ア 各学年や2領域の内容は、関連・系統的に組織立てられているか。 イ 各内容の分量及び配列のバランスは適切であるか。 ウ 図版・図表・写真とその説明の内容・配列・分量が適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	ア 表現と鑑賞の関連を重視し、第1学年では基礎・基本の内容を取り入れ、第2学年及び第3学年を一冊にまとめ、系統立てた学びができるよう配慮されている。 イ 「絵や彫刻等に表現する活動」と「デザインや工芸等に表現する活動」を整理し、活動ごとに系統性をもたせてバランスよく配慮されている。 ウ 見通しをもって造形活動を進められるように、文章・図解・情景写真・作品等のレイアウトに工夫が見られ、大型図版の魅力も取り入れられている。
38 光 村	ア 表現と鑑賞のバランスや配列を考慮し、相互に関連を図れるように第2学年及び第3学年を一冊にまとめて、系統立てた学びができるよう配慮されている。 イ 「表現中心の題材」と「鑑賞中心の題材」に大きく分け、それらをバランスよく配列するとともに、相互に関連を図れるよう工夫されている。 ウ 作品が一つの地域や時代に偏らないよう選定されており、学習意欲の向上につながるように作家の作品と生徒の作品をバランスよくレイアウトしている。
116 日 文	ア 成長過程と各題材がきめ細かく適合するように3冊に分けてつくり、領域や分野ごとに3冊を通して系統的な学びができるよう配慮されている。 イ 「オリエンテーション」「絵や彫刻等」「デザインや工芸等」に役立つ資料が分類され、それぞれバランスよく構成されている。 ウ 内容や視覚効果を十分に吟味した作品や写真掲載を行っており、表現方法の工夫により、学習を効果的に進められるよう配慮されている。



観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 安全面について適切な配慮がされているか。</p> <p>イ 目次・注・資料等は、利用しやすいように工夫されているか。</p> <p>ウ 生徒の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。</p> <p>エ 本文記述と図版・挿絵・イラスト・写真・図表等に適切な関連付けがされているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 基礎的な技能や安全で効果的な道具の扱い方の知識について、適切に示されている。</p> <p>イ 学習の目的や振り返り、解説や資料をマークで示し、絵や彫刻・デザインや工芸のページを分野別に色で表記するよう工夫されている。</p> <p>ウ 魅力的な参考作品が大きく掲載されたり、題材に合わせてレイアウトが考えられたりして表現や鑑賞活動の魅力を伝え、興味・関心を高めている。</p> <p>エ 個々の作品には作者である生徒の言葉を示し、発想・構想に役立つよう工夫されている。</p>
38 光 村	<p>ア 具体的な道具の安全な使い方について、マークを用いて適切に示されている。</p> <p>イ 円滑に授業を進めるために、目次を表紙側と裏表紙側に掲載したり、内容やポイントを識別しやすいマークで示したりするよう工夫されている。</p> <p>ウ 魅力的な鑑賞作品を1ページに原寸大で示したり、見開き4ページで1点の作品を大きく掲載したり、また、表現題材を4ページで掲載し、興味・関心を高めている。</p> <p>エ 図版・写真には、名称・材料・技法等簡潔な解説をキャプションとして添えるよう工夫している。</p>
116 日 文	<p>ア 色彩や材料、用具の扱い方等安全面に関する資料について、適切に示されている。</p> <p>イ 分野を色別インデックスで表記するほか、学びのねらいを示したり、表現や鑑賞等の手がかりや関連ページをマークで表記したりするよう工夫されている。</p> <p>ウ 題材をイメージしやすい生徒作品や魅力的なビジュアルで紙面構成したり、作品を和紙のページや見開き大画面で示したりして、興味・関心を高めている。</p> <p>エ 作品に作者の言葉を示したり、表現題材の参考に鑑賞作品の関連ページを示したりするなど工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	ア 識別しやすいようにイラストの配色や写真の配置、文字の形状を工夫したり、目に優しい紙を用いたりしている。 イ 表紙はプロポリピレン加工で耐水性があり、長期間の使用に耐えるため背表紙のついた堅牢な綴じ方を用い、美しい仕上がりになっている。
38 光 村	ア 識別しやすいように背景色と文字の配色に配慮をしたり、作品や写真の原画の色彩を再現する印刷をしたりしている。 イ 表紙はプロポリピレン加工で耐水性があり、長期間の使用に耐えるため背表紙のついた堅牢な綴じ方を用い、美しい仕上がりになっている。
116 日 文	ア 識別しやすいように罫線や文字の形状を配慮したり、作品のニュアンスや質感が伝わる印刷や用紙を用いたりしている。 イ 表紙はプロポリピレン加工で耐水性があり、長期間の使用に耐えるため背表紙のついた堅牢な綴じ方を用い、美しい仕上がりになっている。

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
9 開隆堂	開隆堂出版株式会社	美術1、2・3
38 光村	光村図書出版株式会社	美術1、2・3
116 日文	日本文教出版株式会社	美術1 出会いと広がり 美術2・3上 学びの深まり 美術2・3下 美の探求